

白駒過隙

Hakku Kageki

- homecoming frequencies -

8・13 木

19:00-21:00

入場無料

予約不要

Shunsuke Oshio × km: live performance

おにクル 1F きたしんホール
大阪府茨木市駅前三丁目9番45

km:

大阪在住。

2011年よりソロ活動を開始。

楽器・日用品・フィールド録音音源など、自分の琴線に触れる物・音を用いて映像的な音楽を探索。

「ひなたみずアンビエンス」「study,drink.」「partition」「event」主宰。「祭」「蘇我氏」「タブラボング」「starry night come again」「topos」「mulusie」「▽◁▷」「g/m.」「タブラボング関西」「ELECTRONICS FANTASTICOS!|京都 Orchest-Lab」といったバンド・ユニット・プロジェクトにも参加し活動する。

また、「coffee:」名義でコーヒースタンドやワークショップも行う。

<https://km-tone.tumblr.com/>

Shunsuke Oshio

Shunsuke Oshio (大塩駿介) は、ドイツ・デュッセルドルフを拠点に活動する電子音楽家。エレキギターを出発点に、シンセサイザーや電子的な処理によって音を分解・変容させ、独自のサウンドスケープを構築する。ソロ活動に加え、コラボレーション多数。アンビエント、実験音楽、エレクトロニックの領域を横断しながら、演劇、映画、インスタレーションのための音楽制作にも取り組んでいる。

<https://www.youtube.com/watch?v=8kSrLq0cTSI><https://www.youtube.com/watch?v=vKeB0vG80Hs><https://vimeo.com/613573671>

「salOOn」は、ドイツ・デュッセルドルフを拠点とする芸術機関 TAFUN Project e.V.によるプロジェクトシリーズです。公共施設や日常空間のなかに一時的な芸術の場を立ち上げ、人と人、人と場所との新たな出会いを生み出します。シリーズ第一回となる今回は、デュッセルドルフ在住の音楽家・大塩駿介と、茨木市在住の音楽家・km:による協働公演を開催します。異なる土地で活動する二人の音楽家は、それぞれの経験や記憶、そしてその場に流れる時間に耳を澄ませながら、電子音によるライブパフォーマンスを展開します。一方にとっては帰郷の風景であり、もう一方にとってはまだ見ぬ土地への想像でもある。互いに異なる場所への眼差しを持ち寄りながら、二人は即興的な対話を重ねていきます。時間や距離、記憶や想像がゆるやかに交差する、一夜限りの出会いと協働のプロセスをぜひご体験ください。